



ふじえだ 市議会だより

題字：高洲中学校 油井穂花さん



花咲く小径（内瀬戸）
撮影：小長谷充朗さん

皇帝ダリア
撮影：寺田 清さん



最終ページのアンケートに
ご協力をお願いします

Vol.
216

令和2年11月5日

決算特別委員会

9月の定例月議会では、15日から18日までの4日間で決算特別委員会を開催し、令和元年度一般会計歳入歳出決算を審査しました。ここでは主な質疑の内容をお知らせします。

認第1号 令和元年度藤枝市一般会計歳入歳出決算の認定について



市長へ令和元年度決算の「事業評価書」を提出しました



玉露の里

問 指定管理者施設のうち玉露の里の運営状況を伺う。

答 本市では、市民サービス向上のために、民間のノウハウを活用し、23施設で指定管理者制度を導入している。玉露の里は、コロナ禍で海外からの旅行者が遠のき、経営は苦しい。地域との関わりが少なくなっていることが課題と考えている。



問 市内の小中学校には、表門には防犯カメラを設置してあるが、増設する考えがあるか伺う。

答 現在は、学校が必要とした場所に設置している。増設については学校の意見を参考に、今後、検討していく。防犯カメラの設置はあくまでも未然防止のためである。



問 放課後等デイサービス給付費について、利用者の満足度向上のために行ったことを伺う。

答 事業者に対し、年に3回行われる自立支援協議会の障害児部会において、市からの指導だけではなく、運営する上での相談を聞き、意見を取り入れるなど、協力してより良い居場所作りをすることで、利用者の満足度の向上に努めた。

問 子ども育成支援事業費について、事業目的の一つである「児童虐待の世代間連鎖の防止」への効果について伺う。

答 スタッフと保護者の間に信頼関係ができることで、保護者に気づき生まれ、子どもへの接し方に変化が生じたケースが見られた。

問 産地パワーアップ事業費補助金における「こと京都株式会社」の雇用状況を伺う。

答 雇用は現在、正社員8人と地元採用のパート35人で、将来的には正社員20人とパート40人を予定している。



こと京都(株)現地調査の様子

問 ごみ出しについては、分別が徹底されていないかったり、集積場所の選定に苦慮したりと、さまざまな問題があるが、市としてどう考えているか伺う。

答 分別の徹底やごみの量を減らすには、環自協のみなさまの活動と、市民ひとりひとりの協力が不可欠である。市としても、環自協を通じて実態調査を行い、引き続き課題解決に努めていく。



写真はイメージです



決算特別委員会の様子

9月定例月議会で審議された議案

◆全議員が認めた議案◆

議案番号	議案名
認第1号	令和元年度藤枝市一般会計歳入歳出決算の認定について
認第2号	令和元年度藤枝市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第3号	令和元年度藤枝市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第4号	令和元年度藤枝市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
認第5号	令和元年度藤枝市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第6号	令和元年度藤枝市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第7号	令和元年度藤枝市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第8号	令和元年度藤枝市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認第9号	令和元年度藤枝市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認第10号	令和元年度藤枝市内陸フロンティア事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第11号	令和元年度藤枝市病院事業会計決算の認定について
認第12号	令和元年度藤枝市水道事業会計決算の認定について
第81号議案	令和2年度藤枝市一般会計補正予算（第5号）
第82号議案	令和2年度藤枝市病院事業会計補正予算（第2号）
第83号議案	令和2年度藤枝市一般会計補正予算（第6号）
第84号議案	令和2年度藤枝市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
第85号議案	令和2年度藤枝市介護保険特別会計補正予算（第2号）
第86号議案	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
第87号議案	市有財産の取得について（教育用タブレット端末11, 033台）
第88号議案	公平委員会委員の選任について
第89号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について
第90号議案	教育委員会委員の任命について
発議案第27号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

可決された議員発議



9月定例月議会において、議員発議提出による発議案(意見書1件)が提出され、原案のとおり可決しましたのでお知らせします。詳細はQRコードからご覧ください。



◆発議案第27号

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し
地方税財源の確保を求める意見書

人事案件

次の人事案件について、本議会は、同意することに決定しました。

◆第88号議案

公平委員会委員

山崎 章二さん(瀬戸新屋)

◆第89号議案

固定資産評価審査委員会委員

増田 和宏さん(駅前一)

◆第90号議案

教育委員会委員

野中 進さん(瀬古二)



常任委員会審査レポート

ピックアップ!

総務文教委員会

第83号議案

「令和2年度藤枝市一般会計補正予算(第6号)」

◎日本遺産推進事業費

～日本遺産の認定を受けた、
宇津ノ谷峠を中心とした魅力の発信～



310万円

「日本初『旅ブーム』を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅」として日本遺産の認定を受け、歴史深く魅力的なスポットが多数存在する宇津ノ谷峠を、観光の拠点として広く啓発していくために、委員会としても可決すべきものと判断しました。



東海道五十三次内
「岡部 うつの山立場 名物十づだんご」
歌川芳員画
藤枝市郷土博物館・文学館所蔵

健康福祉委員会

第81号議案

「令和2年度藤枝市一般会計補正予算(第5号)」

◎地域外来・検査センター設置事業費

～ドライブスルー方式によるPCR検査
実施期間の今年度末までの延長が決まる～



2,260万円

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、市民の皆さんの命と健康を徹底して守るための期間延長であり、委員会としても可決すべきものと判断しました。



藤枝市PCR検査センター
デモンストレーションの様子

建設経済環境委員会

第83号議案

「令和2年度藤枝市一般会計補正予算(第6号)」

◎旧藤枝製茶貿易商館保存・活用事業費

～蓮華寺池公園の一角に
茶文化発信・観光交流拠点を整備～ 520万円



令和4年度の供用開始に向けた実施設計費用であり、委員会としても可決すべきものと判断しました。



現地審査の様子
(旧藤枝製茶貿易商館)



日本共産党
大石 信生 議員



美味しくなった病院給食 そのワケは？

問 80歳を過ぎて、脳と心臓に重大な病気を2年連続で発症し、市立病院で九死に一生を得た。期せずして2度も給食を食べることになったが、美味しくなっているのに驚いた。前回入院した時は民間委託が混乱気味の時期で、出された6割は不味かった。今回、不味は一度もなく、バラエティに富み、10月の直営に向けて高い意欲が感じられた。正規職員を民間委託前の4倍にも増やした「やる気」の成果では？

答 評価いただいたが、マネージャー、現場責任者、調理員計16名が正規職員として、すでに調理現場に入っている。会計年度任用職員(臨時職員)も、調理補助19名、洗浄13名で、ここから正規職員への引き上げも考える。自信と自負を持って患者様から美味しいと言っただけの地産地消など特色を備えた給食を提供できる万全の体制をつくっていききたい。

高齢化、酷暑の中の奉仕作業のあり方について

問 市が、自治会・町内会に要請している奉仕作業はもはや限界で、弱い人や高齢者でも義務とされる

共同作業は、見直しすべき転換点にあるのではないが。

答 最近、危険を伴う作業などは市が実施し、地元の皆様には、無理のない範囲で活動して貰っている。

問 歴史的に見れば、自治体ができる前、人々は村落共同体で道をつくり川を治めた。明治に自治体ができても、行政はそれ以前の慣習を利用して住民の労力や費用を当てにしてきた。半世紀前、私が岡部町議になった時にもこの慣習が多く残っており、現在も堤防の草刈りなど残っている。県・市でやるべきでは。

答 地元と協議しながら、行政が実施する作業範囲の拡大を検討するとともに、地域の実情に合った活動、地域との協働で引き続き環境保全に努めていきたい。

問 コミュニティの壊れた大都会に奉仕作業はない。他の市では、草とりや落葉程度の「軽作業」以外は、市が責任を持つように変わって来ているのではないか。

答 大きな課題に直面していることは事実であり、具体的な方策について検討し、解決につなげていきたい。奉仕作業は、転換点に立っていると認識している。



河川愛護作業前の状態



日本共産党
石井 通春 議員



地方創生制度はコロナから住民を守れるか

問 コロナは人口が集中している地域ほど発症率が高い。安倍政権と本市が進める地方創生制度の柱（人口減少を前提にした集約地域を作るコンパクトシティ構想）は感染を拡大しかねないのではないか。

答 大都市ほど発症率が高いが、本市が進めるのは地域の特性を活かした多極型都市であり感染にも強い。

問 地方創生に新たにSDGs（持続可能な開発のための国連が定めた目標）を取入れているが、国連は人口減少を前提としておらず理念に反するのでは。

答 日本の現状に応じて技術の力を取り入れサービスが受けられる環境づくりを目指すものである。

問 6月に本市が独自に設置した志太医師会の協力に基づくドライブスルー方式PCR検査センターは一日30件の検査能力がありながら平均3件程度しか検査が実施されていない。

答 検査に行きつくまでの手続き面や、感染が抑えられている状況もあるが、検査センターを続けていく事に変わりはない。

問 保健所への相談件数が71646件（8月23日まで）

ありながら外来に行きついているのは3763件で約5%である。検査を受けたくても受けられない人がたくさんいる証ではないか。

答 混乱を防ぐための措置である。企業単位であれば有料で市内PCRセンターで受診が可能である。

問 医療介護従事者や保育士、学童保育指導員など3密が避けられず、かつ、コロナ禍で過重な労働を強いられる職種の人たちに優先的に検査を行うべきではないか。

答 市内に約4000人の関係者がいる。検査の実施が市民の大きな安心につながる事はあるが、検査能力の一層の拡大が前提であり、国県において検査対象を拡大する動きがあるので、その方針に沿って対応していく。

問 唾液による検査は医師会ではなく各医療機関で可能とされている。こうした方式も視野に検査の拡大をさらに進めていくべきではないか。

答 敷地や導線など可能な医療施設があるか医師会と話を進める。



医療介護従事者、保育士などへ検査実施を



藤新会

植田 裕明 議員



非常時における予算執行と次年度予算編成への影響

問 予算執行上、特に影響を受けたものは何か？

答 各種イベントをはじめ、市内外から人が行き交う事業等は、苦渋の決断ではあるが中止とした。また、小中学校の防水改修工事などは、夏休みの短縮によって工期が確保できず、来年度へ延期するなど、多くの事業に影響が出ている。

今後も各会計の収支状況を注視し、国・県などの支援を最大限活用するとともに、安定した財政経営が継続できるよう努めてゆく。

問 次年度予算編成への影響は？

答 市内経済にもたらす影響は計り知れず、来年度以降における税収などへの影響は避けられないものと認識している。

事業の重点化や効率化を図り、新たな時代への幕開けとなるよう、市民の誰もが「幸せになるまち藤枝」づくりに向けた予算編成をしてゆく。

台南市との交流について ～感染症対策先進地に学ぶ～

問 台南市との交流を本市はどう捉えているか。

答 台南市とは観光プロモーションを実施し、産業、教育分野の交流へと拡大している。昨年度は、包括連携協定を締結している遠達国際企業を通じて、市議会とともに台南市政府へ訪問したほか、市内の大遠百貨店において物産展、商談会を行った。



保護メガネ300個



マスクガセット400枚

台湾台南市から提供された新型コロナウイルス感染症対策に係る医療用物資

さらに本年は、台南市政府から新型コロナ対策用の保護メガネやマスクの交換用フィルターの提供など、温かいご支援をいただいた。

市民交流の拡大や地域経済発展につながる事業展開を図り、交流を推進してゆく。

問 国際的評価の高い感染症防止対策を学んではどうか。

答 SARSの教訓から、国民的にも自主的な検温、マスク着用の取組も広く行われ、国際的に高い評価を受けている。「健康、予防」分野における交流については、更に台南市の取組を調査し、今後研究してゆく。



市民クラブ

八木 勝 議員



新型コロナウイルス感染症における市民への安全安心な情報共有について

問 本市の社会福祉施設への対策・対応と現状について。

答 感染した場合に重篤化しやすい高齢者の方などが利用する社会福祉施設においては、絶対にクラスターを発生させない、このことは市民の命と健康に責任を持つ本市の使命である。

問 新型コロナウイルスに対する過剰不安の抑止（コロナハラスメントの回避）について。

答 市としてホームページでの情報提供や市長メッセージ、新聞折り込み、市民からの電話相談対応などで市民の不安解消に努める。また、市長からも「正確な情報に基づく冷静な行動と、人権尊重や個人情報の保護の徹底」を何度も呼び掛けているが、差別や偏見は感染を隠したりすることにもつながりかねず、守秘義務を厳守しつつ「誰もが感染する可能性がある事」を繰り返し市民に伝えていく。

問 社会福祉施設等における事業継続計画(BCP)の策定について。

答 本年6月23日に、本市の主催で、社会福祉施設の職員を対象に、「BCPの基礎」と題したBCPセミナーを開催し、44名の参加があり、BCPの必要性について、学んでいただいた。

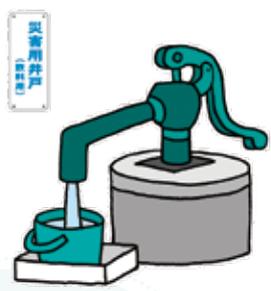




公明党
山本 信行 議員



新型コロナウイルス感染症対策について



地方創生臨時交付金をどう活用するか？

問 感染症対応地方創生臨時交付金の活用について伺う。

答 キャッシュレスポイント還元や、宿泊施設のキャッシュバックなどの消費活動支援、芸術文化活動支援など、新しい生活スタイルを取り入れた市民の多様な活動とそれを支える事業者をサポートする。
また、延長を決めたPCR検査センターの運営にも活用する。

自宅避難や分散避難での視点で！

大規模災害に万全の体制を

問 市民の井戸を災害時協力井戸として登録・マップ化する取り組みについて見解を伺う。

答 今後、断水時の生活用水確保の手法として、課題などを整理し、本市型の登録制度創設を検討していく。

問 自主防災会の防災井戸を含め、今後、企業等にも協力を仰ぎ、行政、市民、企業が一体的となった取り組みについて伺う。

答 課題はあるが、市が事業所に対して説明を行い制度への理解を求め一体的な取り組みを進めていく。



参考資料
京都市災害協力井戸



藤新会
小林 和彦 議員



防災力の強化に向けて

問 ジュニア防災士制度を活用して防災教育向上に取り組む考えはあるか。

答 地域防災力の向上を図るためには、地域の次代を担う小中高生などを含めた若年世代への防災教育は極めて重要である。将来的に地域の防災リーダーとなりうる人材の裾野を広げていくために、教育委員会や県及び自主防災会と連携して、取得しやすくなるジュニア防災士制度を有効に活用し、地域の防災活動を支える人材の育成に努めていく。

問 機能別消防団の現状と今後についてどう考えるか。

答 「機能別消防団」は、消防団員のOBや学生などを中心に、災害・広報・応急手当など特定の活動や役割のみに参加することを可能とする制度で、サラリーマンが多い地区や団員数の少ない地区で団員を補完することが可能となることから、大変有効な制度であると考えている。現在「機能別消防団」制度の来年度導入に向けた準備を進めており、多くの消防団員を確保することで消防団の強化を図り、地域防災力の一層の充実に努めていく。

問 災害時の避難場所として宿泊施設と災害協定を締結する考えはあるか。

答 自然災害の発生が予測される場合に備え、安全確保のための避難行動をして頂ける環境を整えることが重要と考え、ホテルや旅館を災害時の避難先として利用するための協定締結に向け、藤枝ホテル旅館組合と最終調整を行なっている。締結後は、旅館組合に未加入のホテルなどにも協力を打診し、避難先の確保に努めていく。

問 間仕切りの保管場所と設置に伴う自主防災会への講習などについてどう考えているか。

答 間仕切りの保管場所については、指定避難場所のほか地域防災拠点となる各地区交流センターに分散配備している。有事の際の間仕切りの組み立てや設置は避難所を運営する自主防災会の皆様をお願いすることで、避難所における感染症対策が万全となるよう地域住民が参加する避難所開設訓練の中で、効率よい配置の検証と併せて組み立て方の丁寧な説明をしていく。



藤岡小学校 防災授業～地震から命を守る～



藤新会

多田 晃 議員



行政におけるデジタル化への環境整備と推進について

問 マイナンバーカードの普及率とこれからの利便性について伺う。

答 本市の現在の交付率は19.7%。昨年度から、印鑑登録申請書や住民異動届など11種類の申請書や届出書の記載について、ICチップから情報を読み取り自動印字する「申請書作成支援システム」を導入している。また出前型の取組みも行っており、約1,500件の交付申請を受けた。

問 保険証利用についてどう対応するのか伺う。

答 マイナンバーカードの健康保険証利用については令和3年3月から開始予定だが、医療機関・薬局での導入は令和5年3月を目指す。

問 行政手続きのデジタル化について、LINEなどのアプリの活用を検討はあるか伺う。

答 相談業務や情報配信、キャッシュレス決済など様々なサービスが手軽に利用出来るので、先進事例も参考に検討し、いずれ導入していく。

問 書面・押印・対面主義からの脱却について伺う。

答 行政手続き全般のデジタル化を更に拡大してい

くことが求められるが、このことは本市独自のスマートシティの在り方として目指す、平等に行政サービスを受用できる街づくりを実現するものである。昨年度からキャッシュレス決済の導入や公共施設予約システムの構築を進め、オンラインでの健康相談の実証実験も予定している。本年度は部局横断の「デジタル化戦略チーム」を立ち上げ、真に便利で豊かに暮らせる幅広い分野のオンライン化を推進しデジタル自治体を目指す。

問 本市独自の「構想」を示していく必要があるのでは。

答 本市のスマートシティの実現に向けた短期、中長期の施策事業と、それにより、暮らしがどの様に便利になるのか全体イメージを市民や事業者にわかりやすく示していく。また、デジタル化の推進にあたって高齢者や障害者に対するデジタル機器の利用サポートなど、すべての市民がデジタル化の恩恵を受けられるよう努める。



マイナンバーカード



藤新会

深津 寧子 議員



幼児教育・保育環境について

問 幼稚園、保育園、子ども園、地域型保育所がそれぞれの特徴を生かし継続していくため、どのような取り組みをしているか伺う。

答 各園を紹介するリーフレットの作成・配布、窓口で保育士の資格をもつ子育てコンシェルジュ2名が相談に乗り施設の特徴や魅力の周知を図っている。国が定める教育・保育に関わる費用の円滑な給付や補助金を園に対し交付している。

問 保育士の待遇改善に対する取り組みを伺う。

答 毎月各園に支給される給付金の加算についての制度説明、全園を対象としたワークショップやセミナーの開催、働きやすい職場のづくりの手引書の作成・配布、保育士等の「人財バンクenjobふじえだ」を活用した就労支援、保育士等の負担軽減につながる保育補助者の雇用や業務効率化のためのシステム導入等の取組への補助をしている。

食と農アンテナエリア形成事業について

問 仮宿藤枝オリーブ園のオリーブの生育状況と、事業の現状について伺う。

答 「(株)クレアファームふじのくに」が、県内最大規模となる約4.1haの直営圃場を整備し、約2,000本のオリーブを栽培。生育状況としては、定植から3年が経過し、生育にばらつきはあるが、本年秋には約1トンの収量を予定。事業の現状としては、地元協議会がクレアファームと連携し、各種イベント等で魅力ある地域の取組を広く発信。オリーブを活かした地域主導型の活動を進めている。

問 仮宿藤枝オリーブ園を含めたまちづくり基本構想について伺う。

答 食と農をコンセプトに、6次産業化や観光資源化事業を推進。市では平成30年度に基本構想を策定。4つの骨子は、オリーブ産地化事業を核とした力強い農業の振興、新東名等の広域交通インフラを活かした食と農で楽しむ観光交流促進、地元女性会「オリーブの会」をはじめとする女性の力を活かした地域コミュニティの活性化、クリーンセンター付帯施設を拠点とした災害に強い地域づくり。今後まちづくりの組織との協議を重ね地域と共有していく。



仮宿藤枝オリーブ園



藤新会
山根 一 議員



最近の自然災害と地域防災について

問 予想される水害での地域は何処か被災程度と対策を伺う。

答 本年5月に全戸配布した「ハザードマップ」で浸水被害地域を想定し主要河川の浚渫・改修とパイパス水路を整備し備える。

問 地すべり、山・崖崩れ等でのドローンの具体的な活用を伺う。

答 現場を上空から確認し、スピーカー等も使用し住民の安心に伝える。

問 浮上防止機能付マンホールへの交換は完了か。大量噴出は無いか。

答 計画的に工事し本市に於いて大都市の様な大量噴出の発生はない。

問 河川の災害対策で国、県との具体的な支援及び浚渫計画を伺う。

答 二級河川について平成30年度から3か年で集中的に浚渫を行い、来年度以降については国や県に要望した。

問 交流センター等の緊急避難備蓄品について伺う。

答 センターには緊急避難人数分の毛布等の備蓄品

は用意されている。

問 冷暖房完備の市民体育館に発電機を備え避難所としての活用は？

答 市民体育館は大規模災害時での遺体収容所に指定し、他の活用は考えてはいない。

問 廃棄物の仮置場は公園等77か所あるが大規模置場の予定を伺う。

答 77か所の内、Aランクの4か所を大規模仮置場と想定している。

最後に、来年購入の感染予防装備の4輪駆動救急車にリフトアップ装置が無ければ車高を上げて多少の冠水地域でも活用できないか。



写真はイメージです



無会派
天野 正孝 議員



新型コロナウイルスに揺れる市民生活の安定を目指すべき市の今後の対策について

問 減収に伴う地方税の徴収猶予について伺う。

答 賦課部門と徴収部門とで連携を密にし、納税困難者の個々の状況に応じて、きめ細やかな対応ができる体制の構築を検討していく。

問 新生活様式や接触確認アプリの啓蒙を伺う。

答 保健委員代表者へ「コロナに関する最新情報」の研修会を11月をめぐりに実施し、市民に更なる徹底をお願いしていきたい。

問 罹患者や医療関係者に対する差別や偏見を今後どう克服していかれるか伺う。

答 県とともに、広報や啓発だけでなく、全庁的な取り組みを実施することにより、感染者や医療従事者に対する差別や偏見を防止していきたい。

問 深刻化するDV問題についてどう対応していかれるか伺う。

答 安心して相談できる体制を更に強化するとともにDV防止や被害者の保護・自立等の支援に向け福祉事務所と教育委員会の連携など庁内の連携強化と

合わせ県女性相談センターや警察、児童相談所等の関係機関と密接に連携して取り組んでいく。

問 市内中小企業の倒産、事業廃止を防止する更なる市独自の支援について伺う。

答 新たにICTを活用した持続可能な飲食店モデルの構築に関する企画提案型の実証実験の準備を進めている。今後、地域経済の活性化や中小企業への支援となる事業を検討している。

問 原子力災害があった場合の新型コロナウイルス感染との複合災害時の対応を伺う。

答 8月20日に実施された、「浜岡地域原子力防災協議会作業部会」で、他地域の先進事例の紹介があり、浜岡地域での課題の洗い出しを行い、今後、課題に対する対応策を協議することとなった。本市としても具体策を検討し、広域避難計画に反映してまいりたい。

「新しい生活様式」の具体例

- 外出時は症状がなくてもマスクを着用
- 人との間隔はできるだけ2メートル空ける
- 手は水とせっけんで30秒程度洗う
- 帰省や旅行は控えめに
- 誰とどこで会ったかをメモする
- 買い物は通販や電子決済を活用
- 食事は横並びに座り、大皿を避ける
- 冠婚葬祭などでは多人数で会食しない
- テレワークや時差出勤を継続
- 仕事の会議や名刺交換はオンラインで

企業活動を再開する際の対策

- 施設の入出口と内部に手指の消毒設備を置く
- 従業員のユニホームや衣服をこまめに洗濯
- 複数の人が手を触れる場所は適宜消毒する
- 休憩スペースは一度に利用する人を減らす
- トイレはふたを開けて流すよう表示

業種ごとにガイドラインを作成

新しい生活様式例



志太創生会

遠藤久仁雄 議員



「特別支援教育支援員」の充実が求められている

問 令和元年度から、通常学級と特別支援学級の支援員を「特別支援教育支援員」に一元化し、両学級に対し分け隔てなく、効果的な支援を行うようにしているとの答弁があった。近年、どの学級にも特別な支援を必要とする児童生徒が増加していることに対応しての措置と考えてよろしいか伺う。

答 地元の校長会の調査でも、対象となる児童生徒は増加している。それに対応しての事業である。

問 本年度74名の「特別支援教育支援員」により事業を始めたが、コロナ禍の長期休校に配慮し、5月補正予算で急遽40名の支援員の増員確保に向け努力された。どのような効果が見られたか伺う。

答 予期せぬ長期の休校により、特に小学校の新入生など低学年の児童にとっては、集団生活への適応や心理的な不安を取り除く等、大きな助けになった。5月末から増員された支援員体制により、より丁寧に児童に寄り添うことができ、児童の気持ちの安定や学校生活への適応に大きな成果を上げている。

問 本校からは、事業の継続・拡大を望まれているが、やはり支援員としてふさわしい人材を確保することが一番の課題だと考えている。支援員となる資格は特にないが、児童生徒への愛情、成長や発達に関する理解、また教職員と一緒に児童生徒に向かい合っていく協調性などが求められる。

問 小学校低学年への配置の必要性については、十分に理解した。しかし中学校では、別室登校の生徒が数多く見受けられる。増員が必要ではないか。

答 確かに登校はできても教室に入ることができない生徒への対応も必要と考える。少しでも多くの人材を確保するよう努力する。

問 藤枝市は、教育全般にわたり、他市町をリードする施策に多く取り組まれている。だからこそ、コロナ禍が収まった後でも、支援員の増員を望みたい。また教育界のパイオニアとして、他市町をリードしていく役目を果たしていただきたい。

答 今後も人員の確保に向けて努力する。また、国や県に対してもあらゆる機会をとらえて、積極的に本市の考えを伝えていきたい。

問 今後人員の確保に向けて努力する。また、国や県に対してもあらゆる機会をとらえて、積極的に本市の考えを伝えていきたい。

答 今後も人員の確保に向けて努力する。また、国や県に対してもあらゆる機会をとらえて、積極的に本市の考えを伝えていきたい。



志太創生会

平井 登 議員



コロナ・ショックが変える「まちづくり」—第6次総合計画策定方針への影響を問う—

＜首都圏から地方への潮流に迎えられるか？＞

問 3密環境にある首都圏では、地方への移住・移転を望む人々や企業、大学が増えることが予想される。本市の地理的位置や住環境、産業構造を生かした受け皿づくりの新たな政策方針を示しているか伺う。

答 新型コロナによって、東京一極集中の脆弱性が浮き彫りとなり、地方に還流する機運が高まっている。第6次総合計画では、本市の「ほどよく都会、ほどよく田舎」の魅力と広域アクセス性、先駆的なICT環境などの強みを最大限発揮し、「多極分散型社会における拠点都市づくり」を大きな柱として掲げ、人・モノの流れを呼び



込むまちづくり、仕掛けづくりを進める。また、本市の中山間地域は、市街地から十数分でアクセスでき、光ファイバー網によるネットワーク環境も整うなど大きな強みがある。この機を中山間地域再興のチャンスと捉え、例えば陶芸などの文化資源を観光資源に結びつける新たな構想を練っている。来訪者と地域住民とのつながりを生むコミュニティをつくり、活力あふれるまちづくりを進める。

＜集中から分散への空間志向に迎えられるか？＞

問 リモートワーク・テレワークなど、移動と対面を抑制する勤務形態、学習形態、あるいは診療形態等を捉えた政策方針を示しているか伺う。

答 本市は、以前から企業や大学のサテライト拠点づくりやテレワークを進めている。「新しい日常、生活スタイルへの対応」を政策方針として、ICT活用との連動により、行政、医療、教育、産業等のあらゆる分野で新しいスタイルを取り入れる。

＜7割経済とウィズコロナ下の税収減に迎えられるか？＞

問 コロナ禍により、多くの事業所、自営業者等の収入は後退した。今後の大幅な税収減に対し、どのような政策方針を示しているか伺う。

答 将来の財政収支見通しをしっかりと立てるとともに、感染症や地域経済の状況を踏まえ、事業の見直しや国・県の特定期間確保に努める。

**市民クラブ****岡村 好男 議員****大井川焼津藤枝スマートIC
周辺のまちづくりについて****問** 焼津市が、進めようとして

いるインターチェンジ周辺（約25ha）の、区画整理事業内容の影響と、この計画に対して、本市の基本的な考え方について伺う。

答 焼津市が進める計画は、想定される立地や規模から、近隣市町の固有な商圈やまちづくりに大きな影響を与えるとともに、広域的な都市構造のバランスを崩すと大変危惧している。協調と共生により、農業、商業、そして水害対策を含め、メリットのあるものに取り組むべきであり、本市としては、一貫して、大規模商業施設の立地は、本市を含めた地域経済に多大な影響を与えるため、認められない旨を繰り返し申し入れている。**問** この事案について焼津市議会2月定例会において、「藤枝市からは特段の意見はない。」との答弁についての見解を伺う。**答** これまで協議と協調を第一に考えてきた本市の姿勢が理解されていないもので、非常に残念である。**問** 本市のスマートIC周辺の土地利用についての基本的な考え方を伺う。**答** 当地区は、隣接する大洲地区も含め、良質な米・梨などを育み、また、昔から大井川下流域の重要な調整池機能を有するかけがえのない集団的な優良農地であり、大規模な国営農業水利事業が完工して間もないことから、将来に向けて地域を挙げて守っていく必要がある。本市では、こうした立地特性を活かして、周辺地域で「こと京都(株)」によるねぎの生産拠点づくりを進め、優良農地を活かした大規模農業経営体の拠点づくりがあると考えている。**自然災害と感染症の複合災害対策について****問** 潮地区「法の川」の、河川整備進捗状況について伺う。**答** 昨年浸水被害のあった潮地区を流れる法の川は、川の浚渫や河川内に繁茂している雑草の撤去を増水が懸念される梅雨時期に合わせて実施したが、長引く梅雨と猛暑により、特に葦等の雑草が急激に伸びており早期に再度草刈り作業を実施する。また西側市道配水路も年度内完了に向け取り組んでいく。

焼津市上泉地区

**志太創生会****増田 克彦 議員****「新たな日常」とテレワークについて****問** 「テレワークオフィス藤枝駅前」の稼働状況について伺う。**答** 昨年の開所以来、4名の障害を持った方が体験利用し、3名が一般就職した。うち2名が引き続きこのテレワークオフィスに通勤している。
※議会答弁の後、さらに3名の内定者が決定した。うち2名は県外企業への就職。**問** クラウドソーシング「藤枝くらシェア」の稼働状況について伺う。**答** 市民ワーカーは450人を超えている。コロナの影響もあって昨年を大幅に上回る受注がある。**問** 在京企業からのテレワークオフィス/サテライトオフィスの誘致の状況について伺う。**答** 10月にBiVi藤枝内にITbookホールディングス(株)(本社:東京)の主要オフィスが開設される。最大30人の従業員のうち20人は現地採用の予定。

テレワークオフィス藤枝駅前での業務の様子

問 ワークেশョンに関する本市の取組を伺う。**答** 旅行会社や市内宿泊施設と連携してワークেশョンを積極的に展開する。

特に来年度は大久保キャンプ場をモデル地区に首都圏へのプロモーションを進める。



テレワーク(在宅勤務)



ワークেশョン

議会は藤枝市議会 ホームページでも ご覧いただけます

藤枝市議会ホームページでは、本会議のライブ中継と録画放映を行っています。市民生活に直結した重要な問題の審議をぜひご覧ください。
※新型コロナウイルス感染症対策のため本会議場での傍聴の人数制限を行っていますのでご了承ください。



【お問い合わせ】 議会事務局 ☎643-3552

11月定例会議会

11月定例会議会は、11月24日から12月18日までの25日間で開かれる予定です。

11月24日	本会議 1日目*	議案上程等
12月3日	本会議 2日目*	一般質問
4日	本会議 3日目*	一般質問
7日	本会議 4日目*	一般質問・議案質疑等
8日	現地審査	
9日	常任委員会	
10日	常任委員会	
17日	議会運営委員会	
18日	本会議 5日目*	採決等



*藤枝市議会ホームページでもご覧いただけます。

議会だより表紙の写真・イラスト等募集！

市議会では、年4回（5月・8月・11月・2月）「ふじえだ市議会だより」を発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「ふじえだ市議会だより」にするため、表紙の写真を集めます。

● 募集する写真・イラスト等

- **写真の場合**…市内で撮影された人物・四季折々の風景・まつり・学校行事・地域行事等の各種イベントの写真
- **イラストの場合**…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等

● 応募方法

住所・氏名・電話番号・写真の場合（撮影場所・撮影日時・タイトルを記入の上）、議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。

● 応募上の条件

- **写真の場合**…市内で撮影されたもの。
- **イラストの場合**…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等
- 被写体が人物の場合又は個人の所有物である場合は、必ず被写体ご本人（未成年者の場合は保護者）又は、所有者の承諾を得てください。

- 採用作品の著作権は、市議会に帰属するものとします。
- ご応募いただいた写真は原則返却いたしませんので、予めご了承ください。

● 選考方法

市議会広報広聴委員会で決定し、掲載します。

● 応募の締め切り

2月5日号の締切⇒令和2年12月3日(木)

※詳細について、藤枝市議会ホームページをご覧ください。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ

藤枝市議会事務局（市議会広報広聴委員会）
住所：〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1
電話：054-643-3552
メール：gikai@city.fujieda.shizuoka.jp

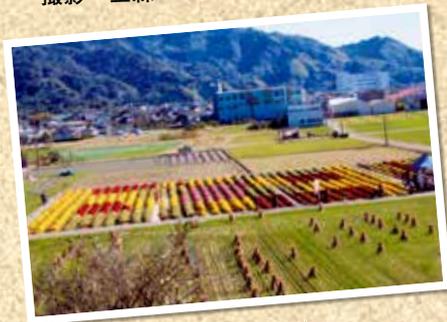
応募写真コーナー



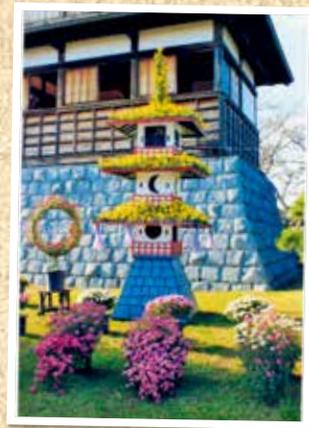
手筒花火 (青葉町)
撮影：金森 一男さん



菊花展 (田中城下屋敷)
撮影：寺田 清さん



ざる菊 (仮宿)
撮影：金森 一男さん



五重の塔 (田中城下屋敷)
撮影：寺田 清さん

最終ページのアンケートにご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、例年実施していた「議会タウンミーティング」も現在のところ開催の目途が立たない状況です。藤枝市議会広報広聴委員会では、このような状況の中でも、できることはないかと考え、この度、市民のみなさんご意見・ご提案などを広くお聞きし、具体的な議会活動の展開や今後の議論・提言等に取り入れていくため、この藤枝市議会だよりでアンケート調査を実施します。

多くの方にご回答いただけるよう、提出方法を複数用意しましたので、次のいずれかでの回答をお願いします。

- 【提出方法】** ①郵送、②ファックス、③ホームページ、④各地区交流センター窓口、⑤市役所1階受付、⑥記入したアンケートを写真撮影し議会事務局へメールも可
※詳細は次のページに記載してあります。

アンケート締切 令和2年12月10日(木)まで

調査の趣旨をご理解いただき、皆様のご意見をお聞かせください。ご協力をお願いします。



編集後記

本誌「一般質問」ページは発言者本人による寄稿ですが、これまである程度の定型(文字数)に沿って書かれていました。本号では、数名の議員が文字数を敢えて減らすことを試みました。ある程度空間があって画像で訴えた方が親しみやすい方もいらつしやるこの考えからです。要旨をお伝えしますので詳細はネットをご覧ください、ということになります。情報量と読みやすさのバランスは難しいところです。皆様の印象はいかがでしょう。

本号では巻末にアンケートを掲載しています。お答えの方法を多くご用意いたしました。ぜひご意見をお寄せください。

編集委員 増田克彦

料金受取人払郵便

藤枝郵便局
承認

2057

差出有効期限
2021年
3月31日まで

切手をはらずに
投函して下さい

4268790

藤枝市役所議会事務局 行

藤枝郵便局 私書箱三八号

アンケートにご協力をお願いします

【提出方法】

- ① 郵 送 (このページで返信用封筒を作り送付してください)
- ② ファックス FAX054 (646) 2030
- ③ ホームページ
<https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/shigikai/G007/15579.html>
- ④ 各地区交流センター窓口へ (休館日を除く8時30分～21時)
※各地区交流センターにもアンケート用紙があります
- ⑤ 市役所1階受付へ
- ⑥ 記入したアンケートを写真撮影し、議会事務局へメールも可
送付先: gikai@city.fujieda.shizuoka.jp



こちらの
QRコードが
便利です

アンケート締切 令和2年12月10日(木)まで

返信用封筒の作り方

アンケートの記入が終わりましたら

① 上側のキリトリ線に沿って切り離してください。

② ……山折り……部分 (2か所) を……
に合わせて山折りしてください。

③ のりしろ部分をのりづけし、封をしてください。裏側にものりしろがあります。

※藤枝市役所議会事務局の宛名を表に
し送付してください。

藤枝市議会 広報広聴委員会 アンケート

〈該当する番号に○をご記入ください〉

Q1 あなたの性別と年齢、お住まいの地域を教えてください。

性別 1.男性 2.女性

年齢 1.20歳未満 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70代 8.80歳以上

地域 1.瀬戸谷 2.稲葉 3.葉梨 4.広幡 5.西益津 6.藤枝 7.青島 8.高洲 9.大洲 10.岡部

議会だよりについて

Q2 あなたは、議会だよりをどのくらい読んでいますか？（どれか1つ回答）

1.毎回読む 2.時々読む 3.ほとんど読まない

Q3 今回の11/5号で興味のある記事の上位2件を教えてください。（どれか2つ回答）

1.表紙(1P) 2.決算特別委員会(2～3P)

3.9月定例会月議会で審議された議案、可決された議員発議、人事案件(4P)

4.常任委員会審査レポート(5P) 5.一般質問コーナー(6～12P)

6.市議会からの案内(ホームページ議会ライブ中継のお知らせ、11月定例会月議会、写真・イラスト等募集)(13P)

7.応募写真コーナー(14P) 8.編集後記(14P)

Q4 市議会だよりを読みやすくするためにはどうしたら良いと思いますか？（複数回答可）

1.文字を大きくする 2.写真や図を増やす 3.内容を簡単にする 4.内容を詳しくする

5.ページ数を少なくする 6.ページ数を多くする

7.その他お気づきの点、掲載して欲しい内容がありましたらご記入ください

()

全体として

Q5 今後、市議会に望むこと（取り組むべき課題）は何だと思われますか？（複数回答可）

1.議員の資質向上 2.タウンミーティングの充実 3.市議会だよりの充実

4.市議会ホームページの充実 5.議員間討議の充実 6.議員定数・議員報酬の見直し

7.政策提言や調査機能の強化 8.市政運営のチェック機能 9.議員による条例制定

10.市民からの意見・要望の聞き取り 11.地域の課題解決

12.その他()

Q6 議員に自分の意見や要望を伝えていますか？（複数回答可）

1.伝えている 2.伝える手段が分からない 3.伝える意見や要望が特にならない 4.知っている議員がいない

5.議員に意見・要望しても実現しない 6.市長や市役所職員に要望を伝えている

7.その他()

Q7 新型コロナウイルス感染症等の影響で、議会に参集が難しくなることも考えられ、Webを使ったオンライン会議・リモート会議が注目されています。あなたは、市議会のオンライン会議についてどう思いますか？（どれか1つ回答）

1.大いに取り入れるべき 2.理解する 3.理解できない 4.設備費用の無駄である 5.分からない

6.その他()

Q8 新型コロナウイルス対策で取り組むべき課題などご意見がありましたらご記入ください。

()

～ご協力ありがとうございました～ 市議会広報広聴委員会

FAX 054-646-2030

